

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人友の会	代表者	大島 泰雅	法人・事業所の特徴	八戸市の中心街である長根公園の向かいにあり、自然が豊かであるため四季を感じながら過ごす事が出来ます。個々の意向に合わせて通いサービス、訪問サービス、宿泊サービスを柔軟に組み合わせ利用する事で在宅での生活が継続出来るよう支援しています。また、町内会への加入や地域行事への参加も積極的に行っています。
事業所名	小規模多機能ホーム 長根の森	管理者	水野 雄大		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	高齢者支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 (文書) 人	0人	4 (文書) 人	0人	1 (文書) 人	1 (文書) 人	0人	4 (文書) 人	0人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	① 新型コロナウイルスにより、自己評価できていない部分があった為、コロナ禍でも自己評価できやすいような事前説明を行う。	① 自己評価前には事前に勉強会を実施し、職員全員の認識の周知を図っている。	・計画を立てても思うように取り組めなかったりと大変ですが柔軟に対応できていると思います。	① 今後も自己評価に早めに取り組めるように、事前の勉強会の実施と環境作りを行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	① ケアプランの見直し時、ご利用者を対象に、ケア会議時にサービス内容について（アプローチ方法やケアの仕方など）を詳しく話し合い、職員で共有し統一した対応ができるようにしていく。 ② 高齢者世帯や日中独居世帯の状態を把握し、地域資源の活用に関わり付けていく。	① 総合的にみると出来ていたと思うが、担当ご利用者以外の事だとできていないように感じる。また、少し期間が開くと忘れてしまうこともあった。 ② 訪問等で状態を確認した内容を申し送り、他職員に情報共有した後、利用者のニーズに即した地域資源を支援へと結び付けていた。	・関わり方やケアの方法で苦慮することは多いと思いますが密な情報共有で利用者様に安心して生活してもらえるように頑張っ てほしいです。 ・報告、連絡、相談の徹底でよくできていると思います。 ・施設利用者が車のラジエーターによるやけどに注意願います。	① 担当職員がご利用者の情報収集や状況を把握し、ケアの内容をまとめ会議等で話し合い意見交換する事で、次の対応につなげていく。 ② 訪問で対応に苦慮し支援が出来ない状況がある一方で、支援者が代わると支援が出来た内容が申し送りされてない事があるので、支援が出来た事柄を忘れず入力し情報共有できるようにする。
C. 事業所と地域のかかわり	① 新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、掲示物の内容を話し合い、地域の方と交流を図れる物やボランティア募集など工夫をしていく。また、公民館で慰問活動をしている団体に依頼をする。	① 新型コロナウイルスの感染拡大の為、ボランティアや慰問活動など地域の方と交流する機会はなかったが、運営推進会議の中で、地域の方の話や意見を聞くことが出来た。	・どの事業も外部との接触が少なくなっており、地域との交流などは難しいと思います。そのような中、事業所職員を担当者会議に参加させサービス機関と関わる機会があるのは職員にとっていい刺激になると思います。 ・毎回写真を多用した新聞の配布を頂き施設の運営状況が分かりやすいです。これからも情報提供	① 地域貢献・広報委員会を中心に掲示板の内容を定期的に検討し、地域の方に小規模多機能居宅介護や施設の様子を知って頂く。 ② サービス担当者会議に、ケアマネだけでなく事業所職員も参加し、他のサービス機関との連携・協働を図っていく。

			をお願いいたします。	
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	① どういった地域資源があるのか、またその活用方法について勉強会を行う。	① 地域資源についての勉強会ができていなかった。その為、現在活用している資源は理解しているが、それ以外にどのような地域資源があるのか理解できていなかった。	・民生委員や町内会の他に市内でもインフォーマルサービスが増えてきています。すべてを把握しているわけではありませんが、必要時は情報提供できると思います。	① 地域でみていく為に、民生委員の役割や社会資源の内容、活用するまでの流れについて勉強会を通じて理解するとともに、事業所の活動について知って頂けように、地域の方々との話し合いの場を設ける。
E. 運営推進会議を活かした取組み	① インシデント・アクシデントの報告書が完成したら、提出用と回覧用を用意し、すぐに他職員が回覧できるようにする。すぐに職員間での情報共有をし、再発防止に努めていく。 ② プライバシーや虐待について、日常のケアの中で職員同士確認しあえる環境づくりと、職員会議での事例検討とマニュアル確認を行う。	① インシデントやアクシデントについては速やかに報告書を作成し、全職員が周知できる環境を整えることが出来たため、すぐに改善策を実行でき、利用者が安全に過ごしていただけるよう対応できた。 ② 事例検討まではいかなかったが日々のケアや職員会議の中で、職員同士対応方法などの確認を行う事ができていた。	・個人情報の制約がありますが町内会会員の動向は適にご報告いただければ施設利用時以外での見守り等ももっと積極的に地域として支援できるのではないかと考えています。 ・できれば、毎回ではなくとも参集した会議を開いていただき、情報共有ができればと思います。	① 在宅での介護や認知症、虐待などについて、事業所でのケースや事例をもとに、それぞれの意見を頂く。
F. 事業所の防災・災害対策	① 災害時や感染症などがあつた際でも、安定した運営ができるような体制作りを行う。	① 事業継続計画を法人全体で取り組み、災害時や感染症時の体制作りに取り組んでいる。	・実施訓練等でご協力できることがあれば声を掛けていただきたいです。 ・災害時対策も本当に難しい問題ですが地域との連携を一番必要としている部分でもあります。町内会としても防災、災害時対応に皆様のご協力が不可欠と思いますので今後ともよろしくをお願いいたします。	① 事業継続計画の体制づくりが出来次第、職員全員へ周知を図っていく。 ② 地域の一員として防災や災害時の連携を図れるよう、協力に努めていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 10 月 7 日 (14 : 00 : ~14 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 水野・沼畑・妻神・高橋・古村・植村・森田・塚原・伊藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	○				13人

前回の改善計画	地域やご家族、かかりつけ医などと連携を図り、窓口をケアマネにしつつ、職員共同で情報の共有を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	ケアマネが主として、ご家族やかかりつけ医などと、必要な方の必要に応じて情報交換し、スタッフとの情報共有ができていた。また、その情報を元に、初期支援に結びつける事が概ねできていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	○				13名
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	○				13名
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	○				13名
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	○				13名

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始前に、フェイスシート回覧で利用者の情報を共有が出来、不明な点や追加の情報や変更があれば都度に更新し周知を図っている。 ・新規の利用者に対しては、安心して過ごしてもらえるよう、適度な距離感で接し声掛けや傾聴を行っている。また、利用者同士のコミュニケーションも円滑に図れるよう配慮に努めている。 ・利用間もない施設での様子などの状況を都度に家族に情報提供し、共有を図れている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・家族、介護者の声は体調確認や自宅での様子程度の話ししか出来ておらず、また、挨拶程度しか交わさず家族の不安に思っている事など話せる関係を築けていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・家族来訪時や送迎時など、日頃の挨拶に加え利用者のちょっとした様子(エピソード)などから情報提供を行えるよう習慣化し「挨拶・表情・態度」などの接遇に十分留意し、家族との信頼関係の構築に努める。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年 10月 7日 (14:30~15:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 水野・沼畑・妻神・高橋・古村・植村・森田・塚原・伊藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		○			13人

前回の改善計画	個別での対応は出来ている方もいる為、現在出来ていない方の個別対応を増やす。
前回の改善計画に対する取組み結果	普段、関わりの少ない方などへの個別対応が、幾分以前よりは増えていると思われるが、今尚、関わりを多く必要としている方、求めている方への個別対応も増えてきている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		○			13人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		○			13人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		○			13人
④	実践した (かかった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		○			13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・本人の思いをケアプランかコミュニケーションの中で理解し、満足度や達成感分かる支援が出来ている。 ・ケアプランから目標を把握し、話題のきっかけにしたり得意分野の作業を提供している。また、取り組んだ時の反応等もミーティングで共有出来ている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・体調不良や何かあった時は、ミーティングで発言し、記録に残し次のケアに繋げることは出来ているが、普段の言動や作業中の様子などを日々のミーティングで発言していない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ・日々の利用者の言動の違いの変化など、都度に特記を記録して情報を共有し、リーダーにも報告した上で必要に応じてミーティングでも発言し共有を図る。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年 10月 14日 (14:00~14:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 水野・沼畑・妻神・高橋・古村・植村・森田・伊藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		○			13人

前回の改善計画	担当者が知り得た情報を記録し、職員間で情報共有し言語化出来ないニーズを支援へと繋げる。
前回の改善計画に対する取組み結果	これまで通り、利用者の知り得た情報は、スタッフ間で共有出来てはいるが、それにより生活が継続できる支援は、些細な事であるが知り得た情報を支援に活かしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?			○		13人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	○				13人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		○			13人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	○				13人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		○			13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 利用者それぞれのADLや日々の状況や状態に応じたケアを都度に臨機応変に提供できている。 利用者の体調や言動に変化が生じた際には、都度にスタッフ間で共有し、必要に応じて家族とも情報を共有している。 自分らしい暮らしを支援する為に、本人や家族のコミュニケーションを図り、変化に応じた支援を行う事ができている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 「以前の暮らし方」について、独居や高齢者夫婦の場合は理解が難しく、情報の把握が出来ていない。 都度、状態の変化が生じる事もあり、全ての利用者様について本人の意向を言語化できているとは、言い難い。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 利用者との関わりの中で、意向や知り得た情報については都度に共有し、意向を直接確認できない方には客観的に様子を観察し、職員間で情報収集した事を記録に残し情報を共有する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年 10月 14日 (14:30~15:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 水野・沼畑・妻神・高橋・古村・植村・森田・伊藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	○				13人

前回の改善計画	管理者やケアマネージャーが窓口になって、必要であれば各関係機関と連携を図り情報共有に努め、継続した支援を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	管理者及びにケアマネが中心となり、医療機関、福祉用具、訪問看護、訪問リハビリ等と情報を交換して連携を図り、都度に情報を共有する事で、継続した支援に繋げることが出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		○			13人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	○				13人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		○			13人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		○			13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・家族からの情報提供により、その方の生活スタイルをライフサポートプランに反映した情報と日々のコミュニケーションから把握努めている。 ・住み慣れた地域での生活を継続する為に、本人を取り巻く家族や地域の方々との関わりを調整した上で、サービス調整を行っている。 ・ケアマネのインテークにより、県外に暮らす家族と利用者本人の現状を踏まえた支援が行えている。また、遠方の家族には、体調の変化や受診内容などを都度に報告している。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ライフサポートプランや職員からの会話から知り得る事ができるが、十分な理解までには至っていない。 ・独居の方に関しては、自宅で変化が起こった時に気付きにくい。 ・利用者全ての地域資源を把握し切れていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・訪問時含めサービス利用時に利用者の心身等の状態に変化があれば、帰宅時に家族へ情報提供し独居者や高齢夫婦者であれば、情報提供と共にサービスの調整やその他対応を家族含め検討する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年 10月 17日 (14:00~14:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 水野・高橋・古川・佐藤・森田・伊藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	○				13人

前回の改善計画	本人、家族のニーズに努めながら、柔軟なサービスの提供に努め、在宅生活が継続できるように支援をする。
前回の改善計画に対する取組み結果	本人と家族で望むニーズに違いはあるが、双方のニーズを擦り合わせたサービスを展開しながら、在宅での生活に戻れるよう、又は在宅生活が継続できるようケースごとに柔軟に対応出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		○			13人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	○				13人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	○				13人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	○				13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・配食サービスや往診、訪看などを活用しながらの支援の継続が出来ている。 ・本人や家族の都合、体調の変化や介助レベルの変動に応じて日々の柔軟なサービスが概ね提供出来ている。 ・申し送りやケース会議などで話し合いが出来ており、報告、連絡、相談を徹底する事で、変化に早期に気づき、ニーズに応じたサービスの提供を図っている。 ・特に独居の方は、様々な問題が生じる事が多く、都度サービス調整の必要性を見極めて提供している。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活用出来ている方もいるが、活用出来ない又は地域資源だけでは支援を補えない方もいる。 ・利用者個々ができる事を確認したり、引き出しながら自立支援に向けて対応しているが、全職員で統一した対応が出来ていない時がある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・大雨、大雪、低高温時など、その他自然災害時において、小規模多機能としての役割を十分に生かしたサービス調整などで対応する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 10 月 21 日 (14:00~14:30)

6. 連携・協働

メンバー 水野・沼畑・妻神・高橋・古村・古川・佐藤・伊藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?			○		13人

前回の改善計画	地域に向けた AED や心肺蘇生など「緊急時の対応」を開催し、地域住民を招く事で、協働した取り組みを企画し実行する。
前回の改善計画に対する取組み結果	スタッフに向けた研修の一環として取り組む事はできたが、地域を対象とした活動は、コロナ禍もあり開催には至っていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	○				13人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		○			13人
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？			○		13人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？			○		13人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・サービスにおける関係機関とは、ケアマネが密に連携を図り、緊急時でもスムーズな対応ができるよう関係を構築している。 ・地域ケア会議や勉強会等に参加し、ケアマネジメント能力の向上を図ると共に、協力体制を確保している。 ・コロナ過もあり、地域イベント自体が中止となる中、草取りなど数少ない開催しているものには、人員調整し派遣している。 ・直接の来訪はないが、リモートで近隣の保育園と交流を図ることが出来た。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者支援センターとの情報交換は定期的に行っているが、地域の各種団体との活動は限定的である。 ・コロナ過もあるが、地域住民が事業所を訪問する事はない。又、運営推進会議が当事業所で開催される事もなく、書面での報告のみとなっている。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルスの情勢を踏まえながら、地域イベント開催状況に応じて可能な限り人員を調整して派遣する。また、地域に向けた AED や心肺蘇生など「緊急時の対応」を開催も実施計画を継続とする。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年 10月 21日 (14:30~15:00)

7. 運営

メンバー 水野・沼畑・妻神・高橋・古村・古川・佐藤・伊藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?			○		13人

前回の改善計画	運営推進会議を有効活用し、協働での取り組むべき事案については、事業所として積極的に取り組む。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナ禍により運営推進会議が開催できず、資料を配布するのみに留まっており、委員の方からの意見を得られない現状にあり。その為、事業所が取り組むべき事案は事業所独自で取り組む形となっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?		○			13人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	○				13人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		○			13人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?			○		13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・会議やミーティング等で、事業所の環境作りについて話し合いが行われており、その中で必要あることについては広報誌等で情報発信している。・利用者、家族からの意見や苦情については、事業所間で協議し改善できる事については、積極的に取り入れサービスの質の向上に努めている。・コロナ禍の為、地域との積極的な関わりは持てないが、リモートで保育園と交流が図れた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・利用者、家族からの要望や苦情などは、改善に努める事が出来ても対応できない要望も中にはある。・地域との意見交換ができる場が現時点で機会がない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">・事業所としての取り組み内容の情報は、広報誌やホームページなどで今後も地域に発信し続けて行く。また、職員一人一人が会議の場などで、話しやすい雰囲気を提供した中で少しでも自発的に発言できるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年 10月 28日 (14:00~14:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 水野・沼畑・妻神・古村・古川・森田・伊藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		○			13人

前回の改善計画	ひやりハットやアクシデントが発生したら、当日中に対策を話し合い、全体で周知したリスクマネジメントに取り組む。
前回の改善計画に対する取組み結果	以前は、報告書や対策を先延ばししていた事があったが、現在は即日には対策を検討し、報告書を回覧する事でいち早くスタッフ全体に周知ができ、対応も早期にできている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	○				13人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		○			13人
③	地域連絡会に参加していますか			○		13人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		○			13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 内部研修は、今年度よりeラーニングを導入し誰もがいつでも受講出来るよう、体制を整備した事で確実にスタッフ全員が実施でき参加率(受講率)も上がっている。 地域ケア会議に参加し、ケアマネジメントの質の向上と情報共有、交流が出来ている。 利用者の思いがけない行動が、ひやりハットに繋がる事もあり、当日中に話し合い迅速に報告書を回覧して周知する事で、リスクマネジメントに取り組めた。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 外部研修への参加が消極的であり、又、資格取得やスキルアップの研修が全体的に出来ていない。 インシデント等の報告書の報告件数が少なく、又、報告書を回覧しても繰り返してしまう事があり、中には再発防止とまでは至っていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 一度出たひやりハットやアクシデントを繰り返さない為に、職員一人一人が再発防止の意識と問題意識を高める為に、毎月事故防止委員会が回覧している会議録を定期的に各自で再確認し、リスクマネジメントに取り組む。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 10 月 28 日 (14 : 30 ~ 15 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 水野・沼畑・妻神・古村・古川・森田・伊藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		○			13人

前回の改善計画	職員が意識していない虐待に繋がる言葉掛けや対応、言動に全職員が注意し合い、虐待や身体拘束になり得る芽を摘む。
前回の改善計画に対する取組み結果	日頃からスタッフの声掛けや態度がスピーチロックに繋がらないように意識している。仮にあったとしても、スタッフ同士で注意し合える環境にはなりきってはならず、その代りスタッフ個々が意識して接している状況にある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	○				13人
②	虐待は行われていない	○				13人
③	プライバシーが守られている		○			13人
④	必要な方に成年後見制度を活用している		○			13人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	○				13人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束や虐待については、事業所内でも勉強会を開催し身体拘束ゼロ宣言を掲げ、事業所として職員全員が取り組んでいる。 ・個人情報保護に関する基本方針に基づき、本人が特定できないよう個人情報は管理出来ている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチロックについて、不意に言ってしまう事がある。 ・プライバシーの配慮がない時も今尚見受けられ、守られているとは言い難い。 ・成年後見制度についての理解がしっかりと出来ていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・集団の中での排泄の声掛けの仕方や声量その他に配慮すると共に、ミーティングやスタッフ間での話題で特定される事のないような会話内容でプライバシーを厳守する。 	